

生涯学習だより

あのまちこのまち

今回は相川事務所・真野事務所です

「石見と佐渡」相川地区公民館講座 「石見佐次衛門と佐渡の文化」

8月25日、相川地区公民館では新潟大学人文学部教授池田哲夫先生を招き、「石見と佐渡」をテーマに講演会を開催しました。

池田先生は、漁労習俗を中心に研究を進めており、先ごろ「佐渡島の民俗」を出版しています。

講演では、柳田國男が姫津出身の石見という貴族院の守衛と知り合い、そのムラが一村石見姓を名乗っていること。そこから、日本海沿岸を北上する人々に想いを寄せ、海府と海人族について言及し、日本人はいかなる経路をたどってこの列島にたどり着いたかを著した『海上の道』が出版されるまでの流れを語ってくれました。



柳田國男は、大正9年(1920)6月と昭和11年(1936)7月、2度にわたり佐渡を訪れ、様々な人々との知的な出会いを大いに楽しんだとか。
彼が見、感じた佐渡を通じて、私たちを取り巻く歴史・文化の奥の深さに、受講生一同感激した様子でした。

女性学級「携帯電話講習会」 (真野地区)

8月24日(木)真野ふるさと会館で、女性学級「携帯電話講習会」が開催されました。女性学級は、「くらしの見直しと経済」、「生活を楽しく」等をテーマに年2回おこなっていますが、今回は、ドコモショップ佐渡店から栗原・角田両講師を迎え、「キッズ携帯」「iモード災害用伝言版サービス」など、最新の携帯電話の動向を学びました。

毎月、携帯電話の携帯料金が気



になる方の「お得なきほん」を活かした節約方法など、分かりやすいパンフレットを利用しながら、1時間にわたり講習をしていただきました。後半は2班にわかれ、実際に携帯電話を使ったメール送信や、着信メロディを取り込む練習など、初心者向けの実践を行いました。また、お互いにメール交換などをして、参加者同士で大いに盛り上がりました。



陶芸・裂織り教室のご案内

初心者を対象とした陶芸教室および裂織り教室を開催しますので、参加希望の方は下記までお申し込みください。

1. 陶芸教室(初級)

- 内容：土練り、成形(ロクロ等)、仕上げ、素焼、絵付け、施釉、本焼
- 日程：原則として、10月31日からの毎週火曜日で、計10回(詳細は後日お知らせします。)

2. 裂織り教室(初級)

- 時間：午後7時から午後9時まで
- 会場：相川技能伝承展示館 佐渡市相川北沢町2
- 受講料：3,000円(ほかに材料費、焼成費)
- 募集人員：10名
- 申込期限：10月26日(木)まで

- 内容：糸巻き、タテ糸つくり、布裂き、織り、織った布を縫う
- 日程：11月7日(火)から計10回(詳細は後日お知らせします。)
- 時間：午前9時から午後4時まで
- 会場：相川技能伝承展示館 佐渡市相川北沢町2
- 受講料：2,500円(ほかに木綿布など各自用意)
- 募集人員：10名
- 申込期限：10月26日(木)

裂織り教室の説明会を10月26日(木)に行いますので、ご出席ください。お申し込み

相川技能伝承展示館
☎ 74 4313



新潟県スポーツ少年団 総合体育大会

第26回新潟県スポーツ少年団総合体育大会が終了しました。先月号で一部結果を紹介しましたが、その他の上位入賞者は次のとおりです。

県柔道大会

・小学生女子団体戦

優勝

両津柔道スポーツ少年団

県空手道大会

・中学生男子個人戦組手の部

第3位 島川 聖太

(佐渡空友会)

第8回佐渡スポーツハウス杯 テニスタブルス大会試合結果

9月10日(日)

佐渡スポーツハウス

人工芝テニスコート

一般男子

優勝 安藤哲也(佐和田TC)

内堀佳郎(セルフィッシュ)

準優勝 木下和重(トライ)

田中建之介(トライ)

一般女子

優勝 高野佳子(佐和田TC)

信田聖美(真野TC)

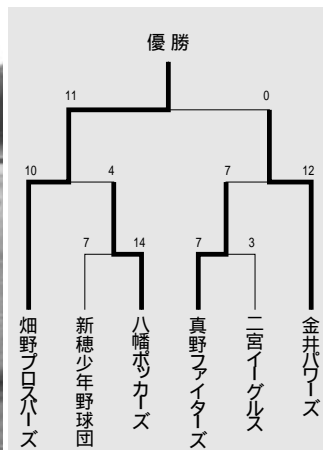
準優勝 山本悦子(金井TC)

山田朋代(佐和田TC)

第12回国仲地区親善 少年野球大会結果

優勝 畑野プロスポーツ

準優勝 金井ワイズ



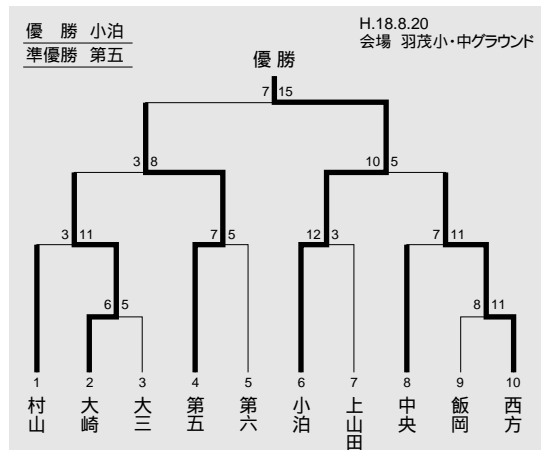
さわやかテニス大会

9月8日(金) 小木テニスコート

優勝 はねもみず

準優勝 テラクラブ

第31回 羽茂ソフトボール大会



佐渡スポーツハウスからのお知らせ

お問い合わせ

佐渡スポーツハウス

☎ 55 2566 (代)

「秋期テニス教室」第2部(全6回)入会生募集

【初心者・初級者】

毎週木曜日午後7時30分～午後9時

(5回)・日曜日 午後2時～午後4時

(1回) / 10月26日、29日(日)、11月2

日、9日、16日、23日

【中級者】

毎週月曜日午後7時30分～午後9時

(5回)・日曜日 ダブルス大会実践1

回)11月6日、12日(日)、13日、20日、27日、12月4日

初心者・初級者、中級者教室とも

・定員 先着25名

・講習料 5000円(含保険料、施設使用料)

申し込み

・お申し込み 10月15日(日) 申し込み用紙記入の上、講習料を添え事務室受付までお申込みください。(定員になり次第締め切ります)

【佐渡スポーツハウス】
【初級者・中級者】テニスタブルス大会

日時 11月12日(日)午前8時30分

会場 佐渡スポーツハウス人工芝

テニスコート(雨天の場合は体育館)

種目 一般男・女ダブルス初級者

の部・中級者の部、リーグ戦方式

参加料 無料

お申し込み 10月15日(日)

申し込み用紙記入の上、事務室受付

までお申込みください。

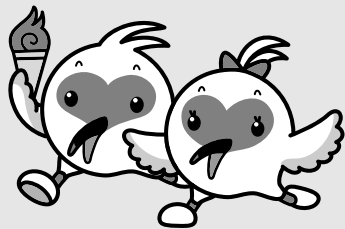
1人からでもお申込みできます。ペアは当日抽選あるいは佐渡テニス協会指導者にお任せしていますが、ペア希望もお申し込み下さい。

専用「申し込み用紙」は、佐渡スポーツハウス受付窓口に置いてあります。

訂正しておわびします

市報さど9月号「第35回BSN少年少女水泳大会」の結果に記載漏れがありました。

優勝 道端夏未 50M(トライ)



トキめき新潟国体

平成21年開催

トキはなて 君の力を 大空へ

第64回国民体育大会 No.5



競技団体旗入場!
式典演技の練習より1コマ▶



第61回国民体育大会のじぎく兵庫国体が9月30日～10月10日に開催され、島内出身選手が出場しました。



開会式当日も華やかな演技をご覧ください。
(写真提供: のじぎく国体ホームページより)

「“ありがとう”心から・ひょうごから」をスローガンに、兵庫県民に親しまれている県花「のじぎく」のように共に美しく輝くように願いが込められた『のじぎく兵庫国体』が神戸市を中心に開催されました。震災からの復興にご支援いただいた国内外の方々に、元気な兵庫の姿を披露するとともに感謝の気持ちを込めて、全国から集う人々を温かく迎えてくれました。

平成18年 のじぎく兵庫国体出場佐渡市出身選手一覧

【選手】

氏名	出場種目	出身(在籍)学校名	出身地区
山口 義紀	陸上競技成年男子 走り幅跳び	国際武道大学	両津地区
池 若葉	バドミントン 少年女子	佐渡総合高校	金井地区
矢島 才	空手道成年男子 (軽量級)組手	燕高校教員	佐和田地区
石見 和也	水泳少年男子B 200mバタフライ・ メドレーリレー	佐渡総合高校	真野地区
甲斐 幸	セーリング成年男子 470級	NPOスポネットせいらう	両津地区

【監督・コーチ】

氏名	出場種目	出身(在籍)学校名	出身地区
北 勝弘	セーリング 成年 コーチ	両津高校出身	両津地区
江龍田 章	カヌー 成年男女 監督	万代高校教員	両津地区
本多 哲朗	バスケットボール 少年女子 監督	東京学館新潟高校教員	新穂地区
早川 礼文	バレーボール 少年男子 コーチ	佐渡高校教員	島 外
細田 淳史	陸上競技 少年男女 コーチ	燕高校教員	島 外

平成18年 第6回 全国障害者スポーツ大会のじぎく兵庫大会出場佐渡市出身選手

【選手】

氏名	出場種目	出身(在籍)学校名	出身地区
多治美 健一	ボウリング		佐和田地区

おけさ橋にトキめき新潟国体開催 PR用横断幕を設置しました

8月21日～9月21日まで佐渡汽船前おけさ橋にトキめき新潟国体開催PR用横断幕を設置し、多くの方々に当市で開催される競技種目(バスケットボール成年男子、軟式野球成年男子、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ)と開催日程(平成21年9月26日～10月6日)をPRしました。

お見逃しになった方は、次回の掲示をお楽しみに!!



「花プロジェクト」に参加して

小原流佐渡支部 支部長 市橋 緑 蘭

佐渡市誕生の平成16年3月、佐渡汽船待合室へ花を生けてほしいとの要請があり、大きな空間に大勢で花を生けました。この頃文化庁で伝統文化子ども教室も始まり、加茂小学校、新穂小学校、南中学校、東中学校の生徒も加わり、華やかかつ賑やかな幕開けとなりました。

四季がはっきりとしている日本の風土、そこに何千年もの昔に花を手向ける文化が生まれました。やがていけ花へと発展して600年程の歴史を刻んで今日に至っていますが、この日本の文化を次世代へと引き継いでいってほしいという気持ちで日々花を生けています。



柿を使用した自慢の味を募集します!

11月23日(祝)に「第3回羽茂うみやあもん祭り」を開催いたします。そこで柿を使用したレシピを募集し、入賞者をうみやあもん祭りの会場で発表いたします。入賞者には豪華景品をプレゼント!

応募締切 11月4日(土)必着

条件 渋柿品種を使用。
お一人様1レシピまで。

応募方法 レシピに完成写真を添え、下記のいずれかで「うみやあもん祭り・柿レシピ係」宛にご応募ください。なお、レシピ・写真はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。

【郵送】 〒952-0504 佐渡市羽茂本郷504-3
JA羽茂内

【FAX】 0259-88-3134

【E-mail】 jahamoch@e-sadonet.tv

お問い合わせ うみやあもん祭り実行委員会
(JA羽茂営農課内) ☎88-3133

こちらは消費者協会です

環境美化運動の一環として ~美しい花の島 佐渡を夢みて~

両津支部 橋本 美子

両津支部は、毎月開かれる理事役員会、支部だより発行、リフォーム教室、ウエス作り、廃油石けん作り、EM石けん作り等活発に事業を進めています。

今回は、18年度の実施計画の中の環境美化運動のひとつで春から始めた両津埠頭周辺の花の植栽について述べたいと思います。平成16年7月から毎月の理事役員会の終了後、約2時間位両津支所庁舎周辺の草取りを始めました。そのうち会員から、花があるといいねという声が出ました。以前から両津埠頭周辺に花が少ないことが気になっていましたので、まず、埠頭周辺から花を植え広げていきたいという声が高まりました。その折、花プロジェクトの存在を知り、早速会長さんや実行委員さんとの話し合いが進み、3月30日に60個のプランターに「きれいな花になってほしい」の願いを込めて花の植え付けをし、両津埠頭周辺に並べました。花は日一日と成長し、色とりどりの花がプランターからこぼれるようになり、観光客ばかりでなく、日々往来する私達も花に癒され、いい気持ちになりました。

花を並べて2~3ヶ月経った役員会でもう一ヶ所、佐渡東警察署前の歩道に花があれば、船から降りて一番目につく所であり、また、信号待ちの所でもあるので、ぜひ花を置きたいとの意向により、猛暑の中8月2日に会員力を合わせもう60個のプランターに花を植え並べました。毎日、早朝の水くれは大変でしたが、埠頭周辺を通る度、忙しい疲れた心を癒してくれる花の力の大きいことに気がきました。水くれをしている時、「毎日ご苦労様です。」と大勢の方に声をかけてもらいました。皆さんがこの活動を喜んでくれていることも実感しました。

平成21年にはハキメキ新潟国体が開かれます。来島する選手、役員、応援団を花いっぱいでお迎えしたいと思います。





相川 自信をもって答える集落代表者達
9月6日(水)から9月8日(金)



相川地区の各農業集落で中山間地域等直接支払制度の検査が行われました。国の制度が始まって今年で7年目、もともと田んぼは水源かん養、洪水防止、土砂崩壊防止等多面的機能をもっていることから、田んぼの耕作放棄地をなくし、機能を維持するなどの目的で始まった制度で、各農業集落が取り組んでいるものです。集落ではこの交付金を活用しているなどを行い、その成果を競い合うまでになりました。そのせいか、検査では取り組みに自信をもって答える姿が印象的でした。

水防止、土砂崩壊防止等多面的機能をもっていることから、田んぼの耕作放棄地をなくし、機能を維持するなどの目的で始まった制度で、各農業集落が取り組んでいるものです。集落ではこの交付金を活用しているなどを行い、その成果を競い合うまでになりました。そのせいか、検査では取り組みに自信をもって答える姿が印象的でした。



畑野 畑野みずき会 展示会
9月1日(金)から19日(火)



畑野商店街の空き店舗を利用して、畑野みずき会による展示会が開催されました。

畑野みずき会は、精神障害者を家族に持つ人達が集まり障害者の保健福祉の向上と社会復帰の促進を図るために活動しているグループで、事業の一環として作っているジャムなどは各種イベントなどでも販売されとても人気があります。

今回の展示会でも、みずき会手作りのジャムをはじめ、小規模授産施設「さわやか」で製作されたクッション、トキ人形などの展示販売や写真、油絵といった作品も展示され開催期間中は大勢の方々が訪れ大盛況でした。

畑野みずき会では、今後も畑野を中心とした地元に着目した活動を行ってきたいとの事でした。



羽茂 羽茂地区防災訓練
9月10日(日)



バケツリレー

羽茂地区で防災訓練が行われました。災害時の防災活動の円滑化や防災意識を高めるために、南佐渡地区では毎年防災訓練を行っています。今回の訓練は、午前7時30分に佐渡市南方で激しい地震が発生。家屋倒壊・火災・土砂崩れ、津波と激しい降雨の影響で水害も憂慮されているという想定で佐渡市・消防組織・佐渡西警察署・地区住民など、約600人が参加しました。

地区の参加者はバケツリレーや濃煙体験などの訓練に真剣な表情で取り組んでいました。

この機会にみなさまのご家庭や職場などでも、地震・津波など災害が起きた時どう対応するか考えてみてください。



応急救助のようす

真野 秋まつり・大獅子を追う
～小布勢獅子・竹箕獅子～

9月、10月は各地の集落で秋まつりの季節ですが、真野地区でも小布勢獅子まつり、新町まつり、四日町まつりなどがあります。

稲刈り前の9月9日(土)12集落を神輿、獅子が練り歩く小布勢獅子まつりが行われました。雌雄2頭が交互に3回ずつ神輿の前で舞う勇壮なもので、こわごわ獅子頭を持上げるとずいといと重いものでした。



一方、10月16日(月)の新町まつりは農具『竹箕』を利用した珍しいもので、実物を見せてもらうと、竹箕を3個組合せた頭に、口・鼻・目・耳などを取り付けたもので、軽いと思いきや、小布勢獅子にも負けず劣らず重いものでした。それにしても、獅子頭をはじめ竹弓を持って幌に入り獅子を扱う皆さんには頭が下がる思いです。



地域のまつりは、若者だけでも、若者抜きでもできません。まつりは地域の方々全員の情熱により受け継がれていくものだと強く感じました。